

令和2年度茶業研究所研究報告会を開催

令和3年2月22日から3月15日の間、茶業研究所研究報告会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場開催を取りやめ、web公開としました。報告課題は「直がけてん茶の品質向上に向けた被覆開始・摘採時期の管理」「手摘み園における省力防除技術の開発」「秋芽の被覆が品質関連成分及びその後の生育に与える影響について」と、現場の要望に即した3課題としました。公開期間中の視聴回数は314回を数え、今後もweb公開してほしいとの要望がありました。当所では、令和3年度以降も茶業関係者や府民の要望に応える研究を進め、公開していきます。



web 上の報告会画面

農林センター（茶業研究所）